

検索・予約のスキルアップ! ご存知ですか? 図書館の「OPAC」

図書館のOPAC(オパック)という言葉、皆さんはご存知ですか?

本の検索・予約にとても便利なサービスなのですが、「よく知らない」という方も多いのでは? 今回は「OPAC」が一体何をしてくれるサービスなのか徹底解説するとともに、既に利用している方もタメになる、使い方のコツを伝授します。思ったよりも簡単にできますので、この機会にチャレンジしてみましょう!

はじめてOPACを使うあなたへ。

Step 1. OPACとは?

OPAC(Online Public Access Catalogue)とは、図書館で所蔵している本の情報を、コンピュータで検索できるようにしたもので、足立区の図書館では、館内OPAC(図書館内の検索機)と館外OPAC(パソコン・携帯電話から利用できる、足立区立図書館ホームページ内の蔵書・検索機能)の2種類が利用できます。

Step 2. 「OPAC」を使うメリット

OPACを使うメリットは、何と言っても「探す手間が省ける」ことです。本の名前を検索すれば、どの図書館の、どの場所に本があるのか分かります。カウンターで専用のパスワードを発行すると、貸出中の本や普段利用している図書館にない本を読みたい場合も、OPACから直接予約をすることができます。「カウンターでの手続きが不要になる」ほか、足立区立図書館のホームページでは「図書館以外の場所にいても予約ができる」ため、更に便利です。

スマートフォンでも
予約できるんだって!
これはもう
使うしかにゃい!



■パスワードを発行するとこんなに便利

- ・自分の貸出状況、予約状況が確認できる
- ・カウンターの手続きなしで本が予約できる
- ・自宅、外出先からでも24時間予約できる(パソコン・携帯電話のみ可能)
- ・本が届いた際の連絡をメールで受取可能(メールアドレスの登録が必要です。)

Step 3. パスワードを登録してみましょう!

3段階でかんたん登録! その後は、いつでも、どこでも自分で利用状況の確認や検索、予約ができます。

①図書館のカウンターでパスワードを発行
※貸出カードをお持ちください。

②「利用者メニュー」から、貸出カードの番号とパスワードを入力してログインする。

③「パスワード変更」から、好きなパスワードに変更する。

登録完了!

登録できたら、早速OPACを利用してみましょう。
次のページから、使い方のコツを紹介!

すでにOPACを使っているあなたへ。

みなさまの図書館ライフをもっと快適に! 知っていると便利な豆知識を、よくある質問を中心にご紹介します。

~本の検索編~

Q. 探している本のタイトルを検索しても見つからないんだけど...

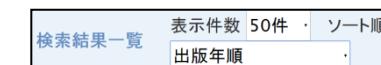
A. 「単語」での検索がおすすめです。例) 日本の歴史について調べたい場合 → 「日本 歴史」

入力した内容に1文字でも違いがあると、本の情報は検索されません。読みたい本の単語を複数入力し、単語の間に空白を入れると、入力した単語が含まれる本が検索できます。

Q. シリーズの小説で、今読んでいる本の次の巻が読みたい! / ○○さんが書いた最新作が読みたい!

A. 「出版年順」「出版年逆順」での検索がおすすめです。

検索画面で本の名前を入力したとき、「表示順」を変更してから検索すると、様々な順番で本の検索結果を表示できます。「出版年順」にした場合は最初に出版された本が一番上となり、1巻から順番に本を読みたい方に便利です。「出版年逆順」とした場合はその逆で、1番新しい本が1番上となるため、新しい本を調べたい方に適しています。



その他にも、知りたいことがある時は
いつでも図書館の人聞いてみてね。



~本の貸出・予約編~

Q. 上・下巻のシリーズで、上巻が先に届くように予約したい!

A. 「順番予約」を設定することで可能です。

OPACでは、借りたい本を予約カードへ入れた後に「順番予約へ」に進み、「受取順」を選択します。上巻の受取順を1位に設定することで、上巻が先に届くように予約することができます。

Q. 今借りている本が読み終わらない! 返却期限の延長ってできますか?

A. その本が返却日を過ぎておらず、次に待っている方がいない場合のみ可能です。

OPACでパスワード登録済みの方は、ログインした後、貸出状況一覧から1度だけ1週間の延長が可能です。カウンターに本をお持ちいただいた場合は、1度返却し、再度2週間の貸出ができます。

~請求記号編~

実際に図書館で本を探すときに参考になるのが、数字や文字などで表示されている「請求記号」。

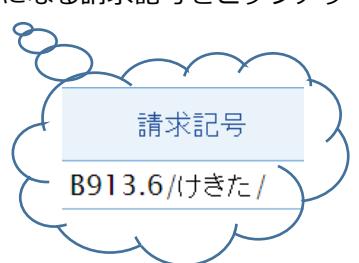
本は、「日本十進分類法」に基づいて並んでいます。今回は、みなさんの参考になる請求記号をピックアップしました。OPAC利用後、図書館で本を探す時にお役立てください。

「B」 = 「文庫」

「E」 = 「絵本」

「913.6」 = 「日本の小説」

「K」 = 「紙芝居」



※やよい図書館では、日本の小説は著者の頭文字3字を本に表示しています。

例えば、OPACの表示が「B/913.6/さえき」なら、「文庫」サイズの「日本の小説」で、著者の頭文字が「さえき」の本であることが分かるようになっています。